

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【公開番号】特開 2016-7233 (P2016-7233A)

【公開日】平成 28 年 1 月 18 日 (2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報 2016-004

【出願番号】特願 2014-127685 (P2014-127685)

【国際特許分類】

A 6 1 B 90/20 (2016.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 29 日 (2017.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

撮像部 6 2 は、第 1 関節部 5 1 の内部まで入り込んでいる。図 3 では、筒状部 6 1 および第 1 関節部 5 1 の中空部に設置される光学系 6 2 1 および撮像素子 6 2 2 を破線で模式的に示している。また、図 3 では、顕微鏡部 6 のうち第 1 関節部 5 1 の内部に入り込んで第 1 関節部 5 1 に対して筒状部 6 1 とともに回転する部分を一点鎖線で模式的に示している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

なお、本実施の形態 3 において、変倍スイッチ 6 4 および焦点距離変更スイッチ 6 5 等、筒状部 6 1 に設けられる他のスイッチに対して入力部カバーを設けてもよい。さらに、筒状部 6 1 の断面が円形状ではなく、一部を異形状としたり、筒状部 6 1 の外周に部分的に凸部を設けたりすることで、取付部 8 2 が筒状部 6 1 に対して回転してしまうのをより抑えることができるとともに、取付部 8 2 を筒状部 6 1 に装着する際の位置決めが容易となる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 6】

さらに、本実施の形態 4 によれば、取付部 1 0 2 は、顕微鏡部 6 へ取り付ける前の状態で薄い帯状をなしているため、かさばらず、変形により顕微鏡部 6 への取付が困難になるなどの不具合も起こりえない。したがって、滅菌ドレープ 1 0 は、出荷する際に梱包しやすい上、梱包材への収納効率にも優れており、安価で経済的である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 7 】

なお、本実施の形態 4 において、筒状部 6 1 の断面が円形状ではなく、一部を異形状としたり、筒状部 6 1 の外周に部分的に凸部を設けたりすることで、取付部 1 0 2 が筒状部 6 1 に対して回転してしまうのをより抑えることができるとともに、取付部 1 0 2 を筒状部 6 1 に装着する際の位置決めが容易となる。このように筒状部 6 1 の形状が異形状であっても、取付部 1 0 2 を筒状部 6 1 に巻き付けて装着するため、取付部 1 0 2 を筒状部 6 1 に対して容易にフィットさせることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 9 】

滅菌ドレープ 1 3 は、顕微鏡部 6 の先端に固定して取り付けられ、筒状部 6 1 に対する滑りを防止する機能を有する取付部 1 3 1 を有する。取付部 1 3 1 は、顕微鏡部 6 の外径より小さい径の円筒状をなす弾性部材からなる筒状部 1 3 2 と、筒状部 1 3 2 の高さ方向の端部であって顕微鏡部 6 の先端に対応する端部に設けられ、顕微鏡部 6 が被観察体からの光を集光する開口面を保護するカバーガラス 1 3 3 とを有する。取付部 1 3 1 は、実施の形態 1 の取付部 1 2 と同様の弾性部材を用いて構成され、外部から接触する物体の滑りを防止する機能を有する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 8 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 8 4 】

取付部 1 4 1 は、顕微鏡部 6 の外径より小さい径の円筒状をなす弾性部材からなる筒状部 1 4 2 と、筒状部 1 4 2 の高さ方向の端部であって顕微鏡部 6 の先端に対応する端部に設けられ、顕微鏡部 6 の開口面を保護するカバーガラス 1 4 3 とを有する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

前記医療用観察装置は、

前記顕微鏡部が柱状をなして前記グリップ部としての機能を有し、

2 つのアーム部および該 2 つのアーム部の一方を他方に対して回動可能に連結する関節部からなる組を少なくとも一組有し、先端部で前記顕微鏡部を該顕微鏡部の高さ方向の軸のまわりに回動可能に支持する支持部と、

前記顕微鏡部の側面であって撮像信号に基づく画像の上方に対応する側面に設けられ、前記アーム部の回動を許容する操作入力を受け付けるアーム操作スイッチと、

を備え、

前記入力部は、前記アーム操作スイッチを含むことを特徴とする請求項 1 ～ 1 1 のいずれか一項に記載の滅菌ドレープ。